

ほっとメール

誰もが健康で居心地よく くらせるまちづくり

神奈川みなみ医療生協
健康まちづくり部

2026 年 10 月 23 日



第 662 号



逗子市に健診事業の充実を求めて要請

逗子市では、この間、住民の健康増進と保健予防活動に力を入れて取り組んで来ました。2023 年度からは、国保加入者の 40 歳から 74 歳までを受診対象にした特定健診の自己負担費用を無償化しました。その結果、特定健診の受診率は 2020 年度が 26.1%だったものが 2024 年度には 37.6%までに上がりました。ところが、公益財団法人逗葉地域医療センターが 7 月 28 日に開催した理事会において、「健診事業を 2026 年度末で廃止する」ことを決定しました。苦渋の決断だったと思いますが、これまで逗葉地域医療センターで実施して来た健診事業がなくなることは、市民にとって大きな不安です。健診受診率の低下が心配されます。

そこで、神奈川みなみ医療生活協同組合は、10 月 22 日に以下のような要請を逗子市に対して行いました。

【要請事項】

1. 健診受診率を引き上げるための啓蒙宣伝活動を強めること。
2. 乳がん検診の検査法に超音波検査も加えること。
3. 高齢者の健診や特定健診の受診時期を延長し、がん検診の実施時期と一致させること。
4. 逗葉地域医療センターでの健診事業廃止以降の受け皿を早急につくること。

<1 番・4 番の要請事項に関する回答>

逗葉医療センターでの健診事業がなくなること、「健診受診率の低下はさけられないだろう」「集団健診は実施しない」「個別健診のみで対応してもらおう」が、「最小限の下げ幅に抑えたい」、「ホームページや広報でのお知らせ以外に個別の電話掛けやハガキ出しは従来通り継続したい」と回答。問題は地域の医療機関がどこまで個別の健診枠を増やせるかだと思うが「医師会に協力を求めているのか」との問いに、「10 月 28 日、医師会の理事会で説明と協力を求めている」と回答しました。

逗子診療所としては、健診枠を増やすためには、広い会場での個別健診も検討するが、その際は「逗葉地域医療センターを活用したいが可能か」との問いに、「積極的な提案なので検討する」「健診枠の拡大については、早めに医師会を通じて意見を上げて欲しい」と回答。

逗葉地域医療センターでの健診事業の廃止とその後の対応について、「市民にどのように説明していくのか」との問いに、「1 月のホームページと広報紙で知らせる予定」と回答。

<2 番の要請事項に関する回答>

学会での評価・見解については承知しているが、国の枠組みが変わらないなかで、自治体独自に超音波検査をすぐに追加することは出来ないと回答。

<3 番の要請事項に関する回答>

健診受診者に健診結果の報告が出来て初めて請求が出来ることになっているので、現状は 2 月末が健診受診の締め切りになっている、一人でも健診受診者を増やしたいので 2 週間程度期間を延長できると受診率の引き上げ効果はあると思う。請求実務を担う医療機関と医師会が期間延長に問題ないというのであれば可能だろうと回答。



逗子診療所・田縁師長